

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-2		事業名	豊明高等養護学校における教育の充実
担当	教育委員会学校教育部指導担当課 田中 211-3861			
全体計画				
事業内容	近年、知的障がいのある生徒を対象とする高等特別支援学校では、志望者が増加し、札幌圏の間口が不足している。また、障がいのある生徒一人一人の職業的自立・社会的自立を目指した就業支援の促進が求められていることから、生徒の多様なニーズや新たな職域等への対応が図られるよう、豊明高等養護学校における間口や教育内容等の見直しを行う。 (1)平成20年度から平成22年度の3か年で3間口(24人)増とし、必要な教室等の整備を行う。 (2)学科について、就労等に関するニーズの把握や職能アセスメントなどを通して、就労を目指した職業教育の充実を図ることができるよう、職業学科のあり方を含めた教育内容の検討及び整備を行う。		<年度別の事業内容>	
			(1)平成20年度から平成22年度の3か年で3間口(24人)の間口増を行う。この間口増に対応するため、平成19年度において学校施設の改修を行うとともに、平成20年度において学校施設の増築・改修を行う。 (2)教育内容の見直しについて、平成20年度より他都市の先進的事例の研究を行うとともに、検討会議を設置するなど、豊明高等養護学校のあり方検討を行う。	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	(1)平成20年度の1間口増に対応するため、教室及び更衣室等の確保が必要であることから学校施設の改修を行った。 (2)教育内容の見直しについては、豊明高等養護学校内における委員会で検討を行った。		(1)平成22年度までの1間口増に対応するため、学校施設の増築、改修、備品の整備等を行った。 (2)教育内容の見直しについては、委員会内の担当者会議に学校関係者を加え検討を進めるとともに、他都市の先進的事例の情報収集を行った。	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	(1)道教委との協議により、石狩圏域の高等養護学校への志願者の増加に対応するため、臨時的に定員の1間口増を行い、8間口での募集を行った。 (2)教育内容の見直しについては、研究開発事業の中で、職業教育に関する生徒のニーズに応じたカリキュラム作りについての実践的な取り組みを行った。		(1)教育内容の見直しについて、障害者の就労状況や先進的な取り組みを実施している地域の高等養護学校の学科等に関する情報収集を行い、検討の素案を作成する。	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-2			事業名	豊明高等養護学校における教育の充実		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
豊明高等養護学校の間口数	18間口	18間口	19間口	20間口	22間口	21間口	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
<b>評価(成果)</b>			<b>課題</b>				
<p>平成20年度の施設整備により、豊明高等養護学校において21間口(1学年7間口)の定員を確保し、札幌圏の高等特別支援学校の定員が増加した。 また、教育内容の見直しについては、研究開発事業のもとで行っている、職業教育における生徒のニーズに応じたコース的なカリキュラムの改善に取り組み、生徒、保護者、担当者からの意見集約を実施することができた。</p>			<p>豊明高等養護学校の増改築による間口増により、札幌圏の高等特別支援の定員は増加したが、道央圏の志願者は、今後も数年は増加傾向が見込まれているが見通しも不明であるため、その対応について北海道教育委員会と協議を継続していく必要がある。 また、豊明高等養護学校の教育内容の見直しについては、新たな就労ニーズを探るなど、生徒が卒業後の安定した職業生活に移行することができるよう、教育委員会に検討会議を立ち上げる予定であるが、この会議において、雇用する側の意見をどのように聴取し、教育課程の改善につなげていけるかが課題である。</p>				
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>知的障がい高等特別支援学校への志望者の増加については、公立特別支援学校(高等部)配置計画を策定する北海道教育委員会と協議を行いながら、引き続き検討していく。 また、教育内容の検討については、就労状況の確認や他都市の先進的事例の研究を踏まえつつ、検討会議において検討を進めるとともに、学科改編を見越した調書作成に取り組む必要がある。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-2		事業名	豊明高等養護学校における教育の充実		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	2,900	267,663	437	0	271,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	37,130	0	0	37,130	
	市の債	0	33,000	0	0	33,000	
	その他の一般財源	0	0	0	0	0	
予算	事業費	0	289,800	0	0	289,800	
実績	財源内訳						
	国・道支出金	0	26,285	0	0	26,285	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	0	0	0	0	0	
	事業費	1,833	245,146	0	-	246,979	
実績	財源内訳						
	国・道支出金	0	97,788	0		97,788	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の一般財源	0	0	0		0	
	事業費	1,833	147,358	0		149,191	
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H21予算事業費) / (計画事業費)				91.1%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] 平成20年度の1間口増に対応するための改修について、本事業に係る予算組みがないため、施設改修等整備費からの執行となった。							
[20年度] 施設の増築において、予算額と実際の契約額が異なったため、予算と決算に差異が生じた。							
[21年度] 特に差異はない。							
[22年度]							